生駒フォーラム
NO. 111
発行責任者
高柳　忠夫
（奈良県議会議員）
事務局 東新町２－10
市民オフィス内
TEL. 71-7700
FAX. 71-7800
http://www1.kcn.ne.jp./~forum/
E_mail.forum@kcn.ne.jp

派兵には必ず命の危険が伴う
戦争に『限定』なんてあり得ない

戦争をさせない奈良1000人委員会が生駒駅で署名活動、高校生からお年寄りの方まで多くの方に。

6.12全国署名提出集会（日比谷野音）で**菅原文太さん**「命がけで戦争反対を！」また**澤地久枝さん**は国会デモの先頭に。

5月31日、奈良市の文化会館小ホールで「戦争をさせない奈良１０００人委員会」の発足集会が行われました。集会では、奈良県内の呼びかけ人の皆さんの挨拶の後、「戦争をさせない１０００人委員会」事務局長の内田雅敏さん（弁護士）、同委員会呼びかけ人の鎌田慧さん（ルポライター）が講演、鎌田さんは「憲法を否定する権力にあらがい、そして戦争をしない国を残そう」と訴えました。

「大きくなれ　大きくなれといわれます
友だちもそういいます
その通りだと思います
けれど　わたしは
もっと　もっと　小さくなりたい
もっと　もっと　小さくなって
人の心の奥深く入りこみ
そこに住みつづけたいのです」
（浅川肇『平和くんからの手紙』）

この詩は、奈良１０００人委員会呼びかけ人の歌人・浅川肇さんが発足集会の壇上にて詠みあげたものです。浅川さんは大化の改新の密議で有名な談山神社の元宮司でもあります。

ほかにも同委員会呼びかけ人の顔ぶれは弁護士、大学教授、医師、俳優と多彩で、和辻哲朗が『古寺巡礼』の中で天平彫刻の最高傑作と絶賛した十一面観音で有名な聖林寺の住職・倉本明佳（みょうか）さんも呼びかけ人として参加しています。

（上）「聖林寺」の住職・倉本明佳（みょうか）さん「宗教者としてだけでは無く、母親としても反対をしていく」と挨拶。
（中）鎌田慧さん（ルポライター）。
（下）「集団的自衛権を許すな！」のシュプレヒコールが会場に。

6月15日の朝日新聞では専守防衛の方針を変更しアフガン派兵を行ったドイツの実例を詳しく紹介していました。後方支援限定のはずのドイツ軍は戦場と後方が区別できない中で多くの犠牲者を出し、帰還した兵士のうち1141人が心的外傷後ストレス障害（PTSD）に悩まされ、派兵から長い時間が過ぎても自殺する人がいる。帰還後の自殺者を含めた死者は55人にのぼるそうです。

6月9日の参議院決算委員会で民主党の江崎孝議員がこのことを問いただしたところ、安倍首相は麻生副総理とヘラヘラ笑いながら私語。国民の代表との質疑という民主主義への真摯さのかけらもない場面でした。

「戦争はしない。必要最小限に限定」とまやかしを言って国民に隠していた集団的自衛権の本質はここにもあります。

「ウソはできるだけ大きいほうがいい」
「ウソも百回繰り返せば本当になる」
アベ暴走（妄想）政権がナチスに学んだ手口です。こんな見え透いた手法に騙されて、憲法の平和主義を一握りの閣僚の一存でひっくり返されていいわけがありません。

今週が閣議決定の山場となりますが、ぜひ、身近な友人、ご家族と「平和・憲法」について語り合っていただきたく思います。

また、集団的自衛権などに私たちの目を釘付けにしている間に、原発の再稼働や、働き方、教育、医療、介護など生活に密着した重要な問題もいつの間にか改悪・決定されようとしています。

時の首相の政治的な判断と閣議決定によって憲法解釈が変更されれば「立憲主義」と「法の支配」は空洞化を免れえません。首相を含めた19人の閣僚による「憲法クーデター」を許してはなりません。

この国が重大な岐路に立っているからこそ、何度でも同じことを強調します。

閣議決定を許すな！　集団的自衛権反対！

好評の紀州路・泉州バスツアーのご案内

梅雨があけると本格的な夏、モモの季節です。紀州路・モモの生産者と、泉州の魚どころ！泉佐野漁協を訪ねます。ご参加をお待ちしています。

日　　時：2014年7月13日（日）
集合は7時50分　午前8時出発　時間厳守

集合場所：生駒駅南側（派出所前）
コース　：生駒駅南側⇒京奈和高速を利用⇒**モモの生産者**
⇒**めっけもん市場**⇒阪奈高速⇒**泉佐野漁協（予定）**
⇒食事と漁協での買い物（**調整中**）
⇒生駒駅南側（午後6時ごろ到着予定）
参加費用：3000円（バス代、飲み物代など）
泉佐野漁協で各自で食事をしてください。
バス乗車時に、代金を集めます。
定　　員：80名　バス2台で企画しています。
申込先着順です。知人友人にお声をかけてください。
申込方法：電話71-7700・ＦＡＸ71-7800
締切り日：7月1日（火）
キャンセルは7月10日(木)まで必ず連絡ください。
主　　催：市民オフィス・生駒フォーラム（申込先）
生駒市東新町2-10　TEL71-7700・FAX71-7800

7月19日（土）

開場13:00、開会13:30
奈良県立文化会館　小ホール

講師：浜　矩子　氏
同志社大学大学院ビジネス研究科教授

「日本の経済・社会・みらい」を語る

戦後日本が積み上げてきた基本的な社会制度を根底からひっくり返そうとしている安倍政権。ＴＰＰの大筋合意、残業代ゼロ、解雇の金銭解決、労働者派遣法の改悪といった労働規制緩和は働くことの最低限のルールをも破壊する「働く者を犠牲にした成長戦略」です。「世界で一番企業が活躍しやすい国」をめざして「成長戦略」を組む安倍政権の危うさを指摘し、よりよい「日本の経済・社会・みらい」を語ります。　主催：民主党奈良県連（0742-20-0001）

障害者差別をなくす奈良県条例をつくる検討委員会の活動が始まります

昨年9月の議会での請願採択を受け、12月議会で荒井知事は「2015年3月の制定を目指す」と明言しました。障害のある当事者を中心とする実行委員会のがんばりで、条例制定は現実味を帯びてきました。

実際にどういう条例が良いのかを検討するために、奈良県が「検討委員会」を立ち上げます。「どういう社会をつくるのか」という問題ですから、障害当事者がきちんと参加することはもちろん、いろんな人の理解と協力がなければ良いものにはなりません。ぜひ、検討委員会の動向に注目していってください。

生駒フォーラムの紙上で昨秋、「障害者差別をなくす奈良県条例をつくる実行委員会」の署名を呼びかけ、生駒市からもたくさんの方が、署名活動に協力してくださいました。ありがとうございました。

この5月22日には実行委員会の障害者たちが生駒駅前でビラまきと署名活動を展開し、100名近い署名をいただきました。市民の理解は広がっている手応えがあります。ぜひ、皆さんも、親しい人たちにこのことを伝えてください。

生駒フォーラムは、この県条例の検討過程を皆さんにできる限りお伝えします。

今年4月、県議会棟で、実行委員会の障害者のメンバーと民主党会派が実効性のある条例作りについて協議する。

一緒に作ろう！　オイル缶と一斗缶でできる
ロケットストーブ・コンロ

先日のさつまいも植えの後で食事をしているときに、ロケットストーブ・コンロが話題になり、再生エネルギーや薪文化・里山暮らし」など話が盛り上がりました。何事も実行するという生駒フォーラムがそれでは実際に作りませんか？　と声をかけることになりました。

新書『里山資本主義・日本経済は「安心の原理」で動く』藻谷 浩介さんも、ロケットストーブ・コンロは燃焼効率の良い簡単なストーブで、薪が少なくて済むと紹介しています。

このコンロは、案外最近に原理が研究された道具で、炊事の燃料が半減するし、煙も出ないので、みんなでワークショップで製作しているのをインターネット上でも見ることができます。

もう一つ注目したいのが、ウッドガスストーブです。木っ端ひとつかみでお湯が沸くという驚きの火力の優れものです。小型ですからキャンプに力を発揮するのではないでしょうか。

生駒フォーラムでは、まずロケットストーブ・コンロを作ります。

第1回の作業日は**7月20日**（日）、作業は五反原にて行います。参加希望の方は、事前に準備する都合がありますので**7月12日**（土）までに市民オフィスへご連絡ください。

2000本の苗を植えました
秋が楽しみです

6月1日五反原で行われた2000本のさつまいも苗を植える企画は、五反原の地元の方や里山のメンバーに助けていただき無事成功しました。

100人を超える参加者の昼食は、お昼の11時からピザを食べられるように、8時から窯に火を入れ、五反原のメンバーが生地をこねるところから準備をしてくれました。また、暖めた壺のような窯でナンを焼く本格インドカレーも大変好評でした。

秋の収穫祭は10月末です。

ナンを焼いてます

今回は、家族連れが多く参加し、子どもたちがさつまいもの苗を一生懸命に植えていました。
飛びぬけて暑い日でしたが、お母さんやお父さんに教えてもらいながら、ていねいに苗を植えていました。
本当に「100人の力はすごい！」　1時間ほどで2000本の苗を植えることが出来ました。
苗にお水をあげること。こればかりは時間がかかりましたが、おかげさまでありがとうございました。